



新機能および変更された機能に関する情報

この章では、Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS システム管理コマンドリファレンスの新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/6_0/nx-os/system_management/command/reference/sm_nx_os_book.html

Cisco NX-OS Release 6.0 に関する追加情報をチェックするには、次のシスコ Web サイトから入手可能な『Cisco NX-OS Release Notes』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/6_0/nx-os/release/notes/6x_nx-os_release_note.html

表 1 では、Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS システム管理コマンドリファレンスにおける新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能

機能	説明	変更されたリリース	参照先
flow timeout	構文の説明および注意事項に、 <i>seconds</i> 引数が追加されました。	6.1(2)	flow timeout
Energy Efficient Ethernet	このコマンドが導入されました。	6.1(2)	show interface ethernet capabilities
	このコマンドが導入されました。	6.1(2)	show interface ethernet
	このコマンドが導入されました。	6.1(2)	show interface ethernet counter detailed
	このコマンドが導入されました。	6.1(2)	power efficient-ethernet
header-type	このコマンドが導入されました。	6.1(1)	header-type
monitor erspan granularity	このコマンドが導入されました。	6.1(1)	monitor erspan granularity
mtu	6.1 以降では、MTU の切り捨てで ERSPAN セッションもサポートされます。	6.1(1)	mtu
sampling	このコマンドが導入されました。	6.1(1)	sampling
show flow timeout	コマンド出力が変更されました。	6.1(1)	show flow timeout
ptp source	vrf オプションは、Cisco NX-OS 6.1(1) リリースで廃止されました。	6.1(1)	ptp source

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能 (続き)

機能	説明	変更されたリリース	参照先
show monitor session	erspan-source セッションのコマンド出力が変更されました。	6.1(1)	show monitor session
NetFlow ハードウェア	show hardware ip コマンドは、show hardware flow コマンドに変更されました。	6.0(1)	show hardware flow
Flexible Netflow	show flow monitor コマンドは、 show flow-sw monitor コマンドに変更されました。	6.0(1)	show flow sw-monitor
Callhome	HTTP プロキシサーバを経由して HTTP メッセージを送信する機能が追加されました。	5.2(1)	transport http proxy enable transport http proxy server
EEM イベント相関	単一の EEM ポリシーで複数のイベント トリガーのサポートが追加されました。	5.2(1)	tag
ロギング	システム メッセージ ログ内で、物理的イーサネット インターフェイスおよびサブインターフェイスに対して説明をサポートする機能が追加されました。	5.2(1)	logging message interface type ethernet description
ネットワーク タイム プロトコル	[no] ntp enable コマンドが [no] feature ntp コマンドに変更されました。 既存のタイムサーバと同期されていない場合でも NTP の正規サーバにデバイスを設定する機能が追加され、時間を配信できるようになりました。	5.2(1)	feature ntp ntp master
高精度時間プロトコル	ネットワークに分散した時間同期プロトコルノードである PTP のサポートが追加されました。このプロトコルは、他の時間同期プロトコルより高い精度を提供します。	5.2(1)	feature ptp ptp announce ptp delay-request minimum interval ptp domain ptp priority1 ptp priority1 ptp priority2 ptp source ptp sync interval ptp vlan show ptp brief show ptp clock show ptp clock foreign-masters-record show ptp corrections show ptp parent show ptp port show ptp time-property

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能 (続き)

機能	説明	変更されたリリース	参照先
SPAN モニタ	各 SPAN セッションの MTU の切り捨て、ソースレート制限、およびマルチキャストベストエフォートモードを設定する機能と、各 ERSPAN セッションの MTU の切り捨てとマルチキャストベストエフォートモードを設定する機能が追加されました。	5.2(1)	mtu multicast best-effort rate-limit
Encapsulated Remote Switched Port Analyzer (ERSPAN)	ポート間トラフィック分析のために ERSPAN を設定しモニタできるようになりました。	5.1(1)	erspan-id filter access-group ip access-list ip dscp ip ttl monitor erspan origin ip-address monitor erspan granularity vrf
AAA MSCHAP V2 認証	aaa authentication login default コマンドおよび show authentication コマンドに、 mschapv2 キーワードが追加されました。	4.2(1)	「A コマンド」 「show コマンド」
AAA アカウンティングログ	show accounting コマンドに、 last-index キーワードおよび start-seqnum キーワードが追加されました。	4.2(1)	「A コマンド」 「show コマンド」
802.1x 認証	dot1x pae authenticator コマンドが追加されました。	4.2(1)	「D コマンド」
RADIUS 統計情報	clear radius-server statistics コマンドが追加されました。	4.2(1)	「C コマンド」
TACACS+ 統計情報	clear tacacs-server statistics コマンドが追加されました。	4.2(1)	「C コマンド」
TACACS+ コマンド許可	TACACS+ コマンドの認可をサポートするため、次のコマンドが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> aaa test authorization command-type show aaa authorization tacacs-server authorization command login default tacacs-server authorization config-command login default terminal verify-only 	4.2(1)	「A コマンド」 「show コマンド」 「T コマンド」

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能 (続き)

機能	説明	変更されたリリース	参照先
ポートセキュリティ	<p>ポートチャネル インターフェイス上でポートセキュリティをサポートするため、次のコマンドが変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • clear port-security • switchport port-security • switchport port-security aging time • switchport port-security aging type • switchport port-security mac-address • switchport port-security mac-address sticky • switchport port-security maximum • switchport port-security violation 	4.2(1)	「C コマンド」 「S コマンド」
IP ACL	<p>IP ACL の処理中にフラグメント処理の最適化をサポートするため、fragments コマンドが追加されました。</p>	4.2(1)	「F コマンド」
MAC ACL	<p>MAC パケットの分類をサポートするため、次のコマンドが追加または変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ip port access-group • ipv6 port traffic-filter • mac packet-classify 	4.2(1)	「I コマンド」 「M コマンド」
シスコ ファブリック サービス	<p>Cisco Fabric Services (CFS) は、コンフィギュレーションの変更を含むデータをネットワークのすべての Cisco NX-OS デバイスに配信します。</p>	4.1(2)	abort (Call home) cfs distribute cfs ipv4 cfs ipv4 cfs region commit (Call home) distribute show cfs application show cfs lock show cfs merge status show cfs peers show cfs regions show cfs status show tech-support cfs
イーサネット スイッチド ポート アナライザ	<p>Cisco Ethernet スイッチド ポート アナライザ (SPAN) の宛先が、次の項目を許可して侵入検知をサポートするために拡張されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TCP パケット ストリームを中断するためのパケットの挿入 • IDS の MAC アドレスを学習する転送エンジンのイネーブル化 	4.1(2)	switchport monitor

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能 (続き)

機能	説明	変更されたリリース	参照先
Call Home	Call home は CFS を使用した設定の配布をサポートするように拡張されました。	4.1(2)	abort (Call home) cfs distribute cfs ipv4 cfs region commit (Call home) distribute show cfs application show cfs lock show cfs merge status show cfs peers show cfs regions show cfs status show tech-support cfs
ロケータ LED	ロケータ LED は、システムで場所を特定しやすいうように点滅するように設定できます。	4.1(2)	locator-led show locator-led status
オンライン診断 (GOLD)	Cisco のオンライン診断では、イベントの表示が可能となり、 <code>show module</code> コマンドの出力で診断情報が表示されるようになりました。	4.1(2)	show diagnostic events show module
Syslog	Syslog ファシリティは、AMT、CFS、DCBX、LISP、ルーティング IPv6 マルチキャスト、ルーティング マルチキャストを含むように更新されています	4.1(2)	システム メッセージ ロギング ファシリティ
NTP	<code>ntp enable</code> コマンドが追加されました。	4.0(3)	「N コマンド」
新しい <code>show hardware fabric-utilization</code> コマンド	ハードウェアのファブリック使用率を表示するコマンドが追加されます。	4.0(3)	「show コマンド」
SNMP	<code>snmp-server aaa-user cache-timeout</code> および <code>snmp-server protocol</code> コマンドが追加されました。	4.0(3)	「S コマンド」
SNMP - 複数インスタンス サポート	プロトコル インスタンスおよび仮想ルーティング/転送 (VRF) インスタンスを含む、SNMP コンテキストから論理ネットワーク エンティティへのマッピングのためのコマンドが追加されます。	4.0(2)	「S コマンド」
新しい NetFlow の <code>show</code> コマンド	NetFlow ハードウェアのフローを表示するコマンドが追加されます。	4.0(2)	「show コマンド」

